

2025 年度 総会議事録

- 1 開催日時：令和 8 年（2026 年）7 月 4 日（土）午後 2 時 00 分～午後 2 時 35 分
- 2 開催場所：ビジョンセンター品川 2 階 205 室
（東京都港区高輪 4 丁目 10-8 京急第 7 ビル）
- 3 出席社員数：14 名（内リモート出席：4 名） 正社員数 16 名
小島 隆行，内田 幸司，江田哲男，菊地 克彦，熊代 正行，寺田理希，土井 司，
沼野 智一，秦 博文，山崎 良，
WEB 出席：高橋 順士，丸山 克也，吉丸大輔，錦 成郎（監事）
書面評決者：鈴木 雄一，高橋光幸

2025 年度活動概要報告

第 21 回磁気共鳴専門技術者認定試験は、東京都立大学と難波御堂筋ホールの 2 会場で開催した。340 人の受験申請があり書類審査によって 296 人に受験資格を与えた。そのうち 247 人が受験し 107 人を磁気共鳴専門技術者として認定した。合格率は 43.3%だった。

磁気共鳴専門技術者の更新申請は 361 人の有資格者のうち 336 人から申請があり、磁気共鳴専門技術者 299 人、上級磁気共鳴専門技術者 30 人を承認した。有資格者のうち 7 人から更新延長申請があり、その後、現在までに 3 人が磁気共鳴専門技術者の更新をした。

更新のための MR 医療安全管理セミナーは Hybrid 方式で開催し、対面 7 人、Web174 人の参加があった。また昨年度は MR の安全啓発活動として、無料の一般医療従事者向けの MRI 安全セミナーを 2 回開催し、第 3 回は 287 人、第 4 回は 294 人の参加があった。医師ならびに看護師、診療放射線技師以外の参加が 22%に達している一方で、申込者数に対する参加者は第 3 回が 60%、第 4 回が 56%であるのは課題である。

肝 MR エラストグラフィ撮像技術講習会は 1 回の開催とし、正しくエラストグラフィの情報を取得するための撮像技術を実習にて習得する機会を設けた。

また、一般医療施設向けの MR 安全啓発ポスターを作成し、JIRA を通じて全国に配布するとともに、ホームページから自由にダウンロードできるようにした。

1. 2025 年度の会務執行状況

- 7 月 5 日 2024 年度総会／2025 年度第 1 回理事会（2025 年度の事業計画）
- 7 月 24 日 2025 年度役員変更届を京都市役所に提出
- 6 月 19 日 2025 年度 第 1 回日本医療放射線技術関連認定機構連絡会議
- 7 月 19 日 第 21 回認定試験 第 1 回試験作成委員会
- 7 月 30 日 第 21 回認定試験 第 1 回監査委員会
- 8 月 17 日 第 21 回認定試験 第 2 回試験作成委員会
- 8 月 3 日～9 月 10 日 第 21 回磁気共鳴専門技術者認定試験初回申請者の書類審査
- 8 月 21 日 第 21 回認定試験 第 2 回監査委員会
- 8 月 23 日 第 6 回肝エラストグラフィ講習会

9月25日 第2回理事会
 9月26日 第3回一般向けMRI安全セミナー
 11月2日 第21回磁気共鳴専門技術者認定試験
 11月4日～7日 第21回磁気共鳴専門技術者認定試験 可否判定メール会議
 11月25日 第3回理事会
 11月30日 第16回MRI医療安全管理セミナー
 1月13日 2025年度 第2回日本医療放射線技術関連認定機構連絡会議
 2月3日～27日 第1回・第6回・第11回・第16回認定MR専門技術者の更新審査
 3月16日 第2回一般向けMRI安全セミナー
 3月18日 第4回理事会

2. 第21回磁気共鳴専門技術者認定試験の実施

期日 2025年11月2日（日）12:40～15:40

会場 東京）東京都立大学荒川キャンパス 大阪）難波御堂筋ホール ホール6

(1) 実施結果

	受験者	平均点	最高点	最低点	標準偏差		受験者	平均点	最高点	最低点	標準偏差
全体	247	56.3	90	22	13.3	初回	98	60.1	90	24	13.9
						再受験	149	53.7	84	22	12.3

(2) 磁気共鳴専門技術者認定者

	受験者	60点≦	合格率		受験者	60点≦	合格率
全体	247人	107人	43.3%	初回	98人	54人	55.1%
				再受験	149人	53人	35.6%
				東京会場	138人	59人	42.8%
				大阪会場	109人	48人	44.0%

3. 第1回・第6回・第11回・第16回磁気共鳴専門技術者認定者の更新

2月3日～27日 更新審査

認定試験	認定者	対象者	申請者	更新	上級	更新延長	更新者/ 対象者	更新者/ 認定者
第1回	37	29	21	20	1	0	72.4%	56.8%
第6回	40	33	31	26	5	0	93.9%	77.5%
第11回	208	195	182	157	18	7	93.3%	87.5%
第16回	104	104	102	96	6	0	98.1%	98.1%
合計	389	361	336	299	30	7	93.1%	86.4%

4. 第16回 MRI 医療安全管理セミナーの開催

(1) 期日 2025 年 11 月 30 日 (日) 12:50～17:00

医療安全セミナー確認テスト：講義終了後～12 月 1 日 (月) 23:59

(2) 会場 ビジョンセンター品川 3F 305 室

(3) 参加 対面 7 人、web 167 人 計 174 人 (更新以外の申込み 42 人)

(4) 司会・進行 高橋光幸、秦 博文, 石川応樹

(5) プログラム

1) 13:00～13:45 MRI 医療安全【総論】 高橋会高井病院 土井 司

2) 13:45～14:30 MRI 医療安全【問診を考える】 泉大津急性期医療センター 谷 光太郎

3) 14:30～15:15 磁性体持込み/体外装着品【貼付薬と化粧品を含む】の安全対応

国立循環器病研究センター 岡田 敦彦

4) 15:30～16:15 体内装着品【添付文章含む】の安全対応 北里大学病院 小見 正太郎

5) 16:15～17:00 心臓植え込み型電氣的デバイス(CIEDs)の対応と今後の動向

東海大学情報工学部 黒田 輝

5. 第6回 MR 肝エラストグラフィ撮像技術講習会の開催

(1) 開催期日 2025 年 8 月 23 日 (土)

(2) 開催会場 東京都立大学荒川キャンパス 図書館棟 2 階 MRI 室

(3) 参加者 16 人

(4) プログラム

1) 10:00～10:40 [講義] MRE の基礎

2) 10:45～11:25 [講義] 肝 MRE の基礎

3) 11:30～12:10 [講義] 肝 MRE の撮像

4) 13:00～14:30 [実習] 肝 MRE の撮像 (コンソールとポジショニング)

5) 14:35～16:05 [実習] ROI の設定と弾性率変化

6. 一般向け MRI 安全セミナー

(1) 第3回「すべての MRI 装置が安全に運用されるために」

1) 日時 2025 年 9 月 26 日 (金) 18:45～21:00 web

2) 司会 秦 博文, 高橋 光幸

3) プログラム 1) MRI 検査を安全に実施するために考えること 土井 司 (高井病院)

2) 大型磁性体, 体外装着品の対応 坂井上之 (つくば国際大学)

3) 体内金属の対応 小見正太郎 (北里大学病院)

4) 質疑応答 石川応樹 (越谷誠和病院), 本寺哲一 (昭和医科大学病院)

4) 参加者 参加申込: 482 人 参加者数: 287 人

医師 11 人, 看護師 24 人, 診療放射線技師 185 人, その他 67 人 (未記入者含む)

(2) 第4回「すべての MRI 装置が安全に運用されるために」

1) 日時 2026 年 3 月 16 日 (月) 18:00～19:30 web

- 2) 司会 高橋 光幸（横浜栄共済病院），坂井上之（つくば国際大学）
- 3) プログラム 1) MRI 検査を安全に実施するために考えること 土井 司（高井病院）
2) MRI の安全運用に関する質疑応答
小見正太郎（北里大学病院），石川応樹（越谷誠和病院），本寺哲一（昭和医科大学病院），秦 博文（北里大学病院）
- 4) 参加者 参加申込：525 人 ZOOM 参加者：294 人
医師 20 人，看護師 45 人，診療放射線技師 185 人，その他 44 人

7. 認定研究会の承認（2025 年度）

- 115) 2025.10.3 群馬 CT・MRI 研究会〔群馬〕 対馬義人（群馬大学）
- 116) 2025.12.24 MR Rookies セミナー〔茨城〕 山本将平（土浦協同病院）

8. 2025 年度収支決算報告

2025 年 6 月 1 日から 2026 年 5 月 31 日までの収支決算報告〔資料 1〕

収入 6,782,138 円 支出 5,277,320 円 当期収支差額 1,504,818 円

前年度繰越金 14,870,842 円 次年度繰越金 16,375,660 円

2025 年度の予算案より約 14 万円の減収であった。安全講習 e-learning のサイト更新やチャットボットの購入、安全啓発ポスターの作製など予定外の事業や運営管理整備に経費をつぎ込んだが、一般向け MR 安全講習を web で開催したことやそれぞれの事業を健全な運用に務めた結果、運営予備費を使うことなく当期収支差額が＋約 150 万円になった。

資料 2 に 2025 年度予算との比較を示す

9. その他

- (1) 一般医療施設向け MRI 安全啓発ポスターの発行
- (2) 添付文書の不具合情報の報告を MR 専門技術者に呼び掛ける
- (3) 日本 MR 医学会 2025 年のインシデント報告サイトの集計をホームページに掲載した
- (4) 認定試験時の不正対策を検討した
- (5) 問合せフォームに対応する有料版チャットボット「chatbase」を購入した

10. 監査報告

2025 年 6 月 1 日から 2026 年 5 月 31 日までの会務執行状況と会計処理が正しく管理されているかを監事に確認していただき、特に問題がないことの報告を受けた。

以上